

2023年3月29日

サイバーセキュリティ高度化に向けた連携組織「CMS-CSIRT」の設立について ～地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ（CMS-WG）の取組み【第2弾】～

西日本シティ銀行（頭取 村上 英之）は、勘定系システムの共同化グループの枠組みを超えたシステム運用の効率化を検討する「地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ※1」（以下「CMS-WG」）での第2弾の取組みとして、サイバーセキュリティ分野での連携組織「CMS-CSIRT※2」を共同で設立しましたので、お知らせします。

昨今、金融業界を取り巻くサイバー犯罪、サイバー攻撃等の脅威は増しており、多くの地域金融機関はさらなるセキュリティ強化の必要性を認識しています。今回、地銀共同センター※3 および MEJAR※4 の参加行が協力し、サイバーセキュリティ態勢を一層強化するため、CMS-CSIRT を立ち上げることにしました。

CMS-CSIRT は、定例会等による交流を通じて、参加行のセキュリティ部門の関係構築を図るとともに、参加行同士のセキュリティ強化に資する情報共有を促進し、セキュリティ担当者の能力向上に向けた勉強会を実施していきます。また、共同でのセキュリティ対応訓練や演習、参加行の共同での対策実現を目指した調査・検討なども実施していきます。

当行では、今後も地銀共同センターおよび MEJAR の参加行との連携の枠組みを活用し、安定的かつ強靱な経営基盤を構築するとともに、お客さまのさらなる利便性向上を促進してまいります。

記

■ 連携組織の概要

名 称	CMS-CSIRT
活 動 内 容	(1) セキュリティ部門の交流促進 (2) 参加者間の情報共有の促進 (3) 勉強会の開催 (4) 共同でのセキュリティ対応訓練や演習 (5) 共同でのセキュリティ対策実現を目指した調査・検討 など
メ ン バ ー	地銀共同センター参加行（13行）、MEJAR参加行（6行）、(株)NTTデータ

<参加行>

地銀共同センター参加行（13行）



MEJAR 参加行（6行）



(注) 広島銀行は2030年度よりMEJARの共同利用を予定しています。

- ※1 地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ (CMS-WG)
システム関連で親和性のある両センターがそれぞれの強みを生かし、参加行共通の課題に対するシステム運用の効率化を検討する場
- ※2 CMS-CSIRT
CSIRT (Computer Security Incident Response Team) は、一般的にセキュリティインシデント発生時の対応を行うチームと説明されますが、CMS-CSIRTでは平時においてインシデントに備えるための、情報共有や担当者のスキル向上、セキュリティ対策の導入を活動内容としています
- ※3 地銀共同センター
NTT データが構築・運営する、地方銀行・第二地方銀行向け基幹系共同センター
参加行は以下の通り (利用開始および銀行コード順)
京都銀行、千葉興業銀行、岩手銀行、池田泉州銀行、愛知銀行、福井銀行、青森銀行、秋田銀行、四国銀行、鳥取銀行、西日本シティ銀行、大分銀行、山陰合同銀行
- ※4 MEJAR
NTT データが構築・銀行が主体で運営する、地方銀行・第二地方銀行向け基幹系共同センター
参加行は以下の通り (利用開始および銀行コード順)
横浜銀行、北海道銀行、北陸銀行、七十七銀行、東日本銀行、広島銀行 (2030 年度より共同利用予定)

<ご参考>CMS-WG の取組み

時期	取組内容
2021 年 11 月	地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ (CMS-WG) 発足
2022 年 5 月	オンラインデータ連携を活用した業務アプリの相互流通スキーム立上げ
2023 年 3 月 (本件)	サイバーセキュリティ高度化に向けた連携組織「CMS-CSIRT」設立

以 上

本件に関するお問い合わせ先
IT 統括部 松田・境 TEL 092-476-2360